

第 42 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 4 月 28 日（水）午後 5 時 00 分から午後 5 時 15 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育監、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ 京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 京都府内の新規感染者数は、今月に入って急速に増加し、最近では重症者も急速に増加しております。
- ・ 4 月 25 日から緊急事態措置を実施しているところですが、本日の会議ではこうした状況を踏まえて、今後の対応について協議いただくこととしております。
- ・ それでは西脇知事、会議の進行をお願いいたします。

【知 事】

- ・ まずもって、この間、日夜医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に、心から深く感謝を申し上げたいと思います。
- ・ 京都府では、国の緊急事態宣言を受けまして、4 月 25 日から緊急事態措置を実施しております。
- ・ 今回の措置は、感染リスクの非常に高い飲食機会における感染防止、そして人の流れを抑制すること、これが非常に重要な課題で、日中を含めた不要不急の外出の自粛、酒類を提供する飲食店をはじめ、1000 m²を超えます大型商業施設等の休業要請、そしてイベントの無観客開催などの措置を実施しており、府民の皆様、事業者の皆様には大変な御負担をおかけしているところでございます。
- ・ ただ、府内の新規感染者数は本日の感染者数が 140 人と、一週間の移動平均でも 139 人ということで、引き続き、感染の拡大は続いております。
- ・ 本日は、こうした感染状況も踏まえながら、今後の対策について議論したいと思っておりますのでよろしく申し上げます。
- ・ まずは最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いいたします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 続きまして、医療提供体制の拡充について、健康福祉部長から事務局案の説明をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 2、3 に基づき説明

【知 事】

- ・ 続きまして、府民、事業者の皆様への呼びかけについて、危機管理監から御説明をよろしくお願いいたします。

【危機管理監】

※資料 4 に基づき説明

【知 事】

- ・ ここまでの報告について、松井議長から御助言をよろしくお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・ 感染者の増加が続く中でゴールデンウィークを迎えます。
- ・ 確保できている病床を上回る感染者の発生も想定して、医療体制の整備を進めていただいております。
- ・ この体制がしっかりと機能するように、関係各位にはよろしくお願いいたしますと思います。
- ・ 最近の特徴として、変異株の影響と考えられますが、第3波に比べて、明らかに重症化のスピードが速く、比較的若い人にも重症化が目立っています。
- ・ コロナはもう、高齢者の病気ではありません。
- ・ 年齢にかかわらず、罹ると命に関わる感染症です。
- ・ 府民の皆様には、自分の命を守るために、大切な家族の命を守るために、府民の命を守るために、一人一人がうつらない行動、うつさない行動を私からも改めてお願いをしたいと思います。
- ・ 私たちの行動は必ず結果に繋がります。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【知 事】

- ・ 医療提供体制の逼迫に直面しております。
- ・ 医療崩壊を起こさないためにも、できる限り先手を打って対策を講じる必要があると考えております。
- ・ それから、宿泊療養、自宅療養が増えているということで、健康観察を医師会の全面的な協力によって、円滑に進めたいと思いますし、ワクチン接種についても市町村からの課題が打ち手の方の確保ということもございますので、これまで以上に、連携をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。
- ・ 続きまして、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願いいたします。

【京都市危機管理監】

- ・京都市における分析では、京都市での一週間あたりの感染者数について、第3波では一週間あたり40人が400人になるのに8週間かかりましたが、第4波ではこれが4週間で至っており、非常に危険であるため、複合的な対策でしっかり押さえ込む必要があると認識しております。
- ・ゴールデンウィークをいかに活用して、飛沫感染等や人流を大きく抑制していくかがポイントになると思っております。
- ・飲食店の時短、あるいは大規模施設の休業といった事業者の皆様の御協力をいただきながら、あらゆる媒体を使った広報啓発や、公園等の見回りパトロールを行っております。
- ・路上飲食対策など、マンパワーも投入しながら、京都府、京都市、連携して取り組んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

【知 事】

- ・感染の急拡大の場面、京都府、京都市、連携して緊急事態措置の効果を上げていくように、全力で取り組んでまいりたいと考えております。
- ・次に、緊急事態措置を実施してから4日目を迎えるわけですが、路上飲酒などへの見回り、啓発活動、それから府民、事業者の皆様への直接の呼びかけということが非常に重要だと考えております。
- ・当初から、京都府警の皆様には、多大な御協力を得ております。今後とも、引き続きの御協力をお願いいたします。
- ・本部長からコメントがあればよろしくお願いいたします。

【警察本部長】

- ・路上の見回りについて、トラブルの防止という観点で、警察官が同行させていただいております。
- ・府民の皆様の協力もあって、大きなトラブルはないという報告を受けておりますが、今後とも府警といたしまして、引き続き皆様とよく連携を取らせていただいて、必要な協力、そして支援を行ってまいりたいと考えております。

【知 事】

- ・今後とも御協力、本当によろしく願いいたします。
- ・他に御意見、御発言がなければ、事務局案のとおり、対策を進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- ・それでは、本日の会議の総括を3点申し上げたいと思います。
- ・1点目は、第3波よりも格段に感染拡大のスピードが速く、変異株の影響も懸念されております。
- ・特に、最近では重症者が急速に増加するような傾向もございますので、医療提供体制の更なる拡充、宿泊療養施設の体制強化、ゴールデンウィーク中の医療検査相談体制の確保、そして、ワクチンの早期接種ということで、医師会、関係機関とも連携していかなければいけません。万全の体制を講じていただきたいと思います。
- ・2点目は、この後記者会見で、私から直接府民の皆様、事業者の皆様に命を守る行動について訴

えてまいります、各部局におかれても引き続き、緊急事態措置に掲げております措置について、あらゆる機会をとらえて、府民、事業者、また施設管理者の皆様に、要請していただきたいと思っております。

- 3点目、明日から大型連休の時期に入っております。
- 府庁の方も、出勤者の削減目標を掲げております。
- 一方で、緊急事態宣言下ということで、どういう事態が生じるか分からないような緊迫した状況でもございますので、出勤者の数の削減をしながらも、連絡体制等を含めて、万全の体制を取っていただくように、私からもお願いしたいと思います。
- このゴールデンウィークが、さらに感染拡大を招くのか、それともここで一定感染の波を抑えられるのかという正念場だと思っておりますので、引き続き緊張感を持って対応していただきたいと思っております。
- 私からは以上です。よろしく申し上げます。

【危機管理監】

- 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取組をお願いいたします。
- 松井議長、三科危機管理監におかれては、御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。
- 以上をもちまして、対策本部会議を終了いたします。